

3 診療等の状況

(1) 検査等、手術等、放射線治療の実施状況

1) 検査等、手術等、放射線治療の実施状況

一般病院の手術等の実施状況をみると、「03 悪性腫瘍手術」2,359 施設（一般病院総数の 31.8%）となっており、これを部位別でみると「10 大腸」1,797 施設（同 24.3%）が最も多く、次いで「06 胃」1,597 施設（同 21.6%）となっている（表 16）。

表 16 一般病院の検査等、手術等、放射線治療の実施状況（複数回答）

平成23(2011)年9月中

	施設数	施設数に対する割合 (%)	設置台数 ²⁾	実施件数・患者数	実施1施設当たり実施件数・患者数	
一 般 病 院	[7 528] 7 410	100.0	…	…	…	
検査等	01 骨 塩 定 量 測 定	4 602	…	130 892 人	28.4 人	
	02 気 管 支 内 視 鏡 検 査	1 363	…	15 241 人	11.2 人	
	03 上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	5 122	69.1	…	521 478 人	101.8 人
	04 大 腸 内 視 鏡 検 査	4 181	56.4	…	208 913 人	50.0 人
	05 血 管 連 続 撮 影	1 727	23.3	…	93 308 人	54.0 人
	06 D S A (再掲)	1 467	19.8	…	30 387 人	20.7 人
	07 循 環 器 D R (再掲)	1 146	15.5	…	56 966 人	49.7 人
	08 マ ン モ グ ラ フ ィ ー	2 480	33.5	2 640 台	208 603 人	84.1 人
	09 R I 検 査 (シンチグラム)	1 138	15.4	1 502 台	86 101 人	75.7 人
	10 S P E C T (再掲)	1 048	14.1	1 343 台	43 006 人	41.0 人
	11 P E T	81	1.1	93 台	5 051 人	62.4 人
	12 P E T C T	204	2.8	253 台	27 088 人	132.8 人
	13 マ ル チ ス ラ イ ス C T	4 841	65.3	5 851 台	2 012 854 人	415.8 人
	14 そ の 他 の C T	1 545	20.9	1 565 台	94 176 人	61.0 人
	15 M R I 1.5 テスラ以上	2 282	30.8	2 933 台	754 749 人	330.7 人
	16 M R I 1.5 テスラ未満	1 232	16.6	1 250 台	114 755 人	93.1 人
	17 3 D 画 像 処 理	1 868	25.2	…	184 749 人	98.9 人
	18 冠 動 脈 C T・心 臓 M R I (再掲)	1 122	15.1	…	28 742 人	25.6 人
手術等	01 全 身 麻 酔 (静 脈 麻 酔 は 除 く)	3 506	47.3	…	204 091 件	58.2 件
	02 内 視 鏡 下 消 化 管 手 術	2 760	37.2	…	58 013 件	21.0 件
	03 悪 性 腫 瘍 手 術	2 359	31.8	…	50 739 件	21.5 件
	04 食 道 (再掲)	384	5.2	…	1 028 件	2.7 件
	05 肺 (再掲)	711	9.6	…	3 913 件	5.5 件
	06 胃 (再掲)	1 597	21.6	…	6 585 件	4.1 件
	07 肝 臓 (再掲)	736	9.9	…	2 980 件	4.0 件
	08 胆 嚢 (再掲)	393	5.3	…	915 件	2.3 件
	09 膵 臓 (再掲)	451	6.1	…	893 件	2.0 件
	10 大 腸 (再掲)	1 797	24.3	…	9 337 件	5.2 件
	11 腎 (再掲)	652	8.8	…	1 708 件	2.6 件
	12 前 立 腺 (再掲)	721	9.7	…	2 152 件	3.0 件
	13 乳 房 (再掲)	1 194	16.1	…	6 116 件	5.1 件
	14 子 宮 (再掲)	638	8.6	…	4 220 件	6.6 件
	15 人 工 透 析	2 302	31.1	54 555 台	1 579 628 件	686.2 件
	16 分 娩 (正 常 分 娩 を 含 む)	1 051	14.2	…	46 386 件	44.1 件
	17 帝 王 切 開 娩 出 術 (再掲)	992	13.4	…	11 198 件	11.3 件
放射線治療	01 位 置 決 め 装 置 X 線 シミュレーター	344	4.6	352 台	7 044 人	20.5 人
	02 位 置 決 め 装 置 C T シミュレーター	635	8.6	655 台	20 215 人	31.8 人
	03 放 射 線 治 療 計 画 装 置	718	9.7	1 269 台	21 930 人	30.5 人
	04 放 射 線 治 療 (体 外 照 射)	767	10.4	…	239 489 人	312.2 人
	05 リニアック・マイクロトロン(再掲)	679	9.2	831 台	222 176 人	327.2 人
	06 ガンマナイフ・サイバーナイフ(再掲)	74	1.0	76 台	1 783 人	24.1 人
	07 放 射 線 治 療 (腔 内・組 織 内 照 射)	187	2.5	…	1 386 人	7.4 人
	08 R A L S (再掲)	162	2.2	167 台	985 人	6.1 人
	09 I M R T (強 度 変 調 照 射) 等 の 高 精 度 照 射 あり	213	2.9	…	…	…

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
 なお、前回調査である平成 20 年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、71 頁の表 3 に掲載している。

2) 設置台数は平成 23 (2011) 年 10 月 1 日現在の数値である。

一般診療所の手術等の実施状況をみると、「12 人工透析」1,916 施設（一般診療所総数の 2.0%）となっており、実施 1 施設当たりの実施件数の件数は 867.0 件となっている。

また、歯科診療所をみると、「インプラント手術」11,311 施設（歯科診療所総数の 16.8%）となっている。（表 17）

表17 一般診療所及び歯科診療所の検査等、手術等、放射線治療の実施状況（複数回答）

平成23(2011)年9月中

		施設数	施設数に 対する割合 (%)	設置台数 ²⁾	実施件数 ・患者数	実施1施設 当たり実施件数・ 患者数
一 般 診 療 所		[99 547] 98 004	100.0
検査等	01 骨 塩 定 量 測 定	19 023	19.4	...	321 488 人	16.9 人
	02 気 管 支 内 視 鏡 検 査	181	0.2	...	2 009 人	11.1 人
	03 上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	16 207	16.5	...	392 773 人	24.2 人
	04 大 腸 内 視 鏡 検 査	6 476	6.6	...	103 791 人	16.0 人
	05 血 管 連 続 撮 影	150	0.2	...	2 922 人	19.5 人
	06 D S A (再掲)	85	0.1	...	845 人	9.9 人
	07 循 環 器 D R (再掲)	27	0.0	...	1 330 人	49.3 人
	08 マ ン モ グ ラ フ ィ ー	1 243	1.3	1 396 台	223 319 人	179.7 人
	09 R I 検 査 (シンチグラム)	27	0.0	28 台	1 308 人	48.4 人
	10 S P E C T (再掲)	16	0.0	16 台	446 人	27.9 人
	11 P E C T	21	0.0	24 台	1 550 人	73.8 人
	12 P E T C T	64	0.1	96 台	14 880 人	232.5 人
	13 マ ル チ ス ラ イ ス C T	2 268	2.3	2 298 台	162 752 人	71.8 人
	14 そ の 他 の C T	2 761	2.8	2 768 台	87 798 人	31.8 人
	15 M R I 1 . 5 テ ス ラ 以 上	471	0.5	515 台	107 408 人	228.0 人
	16 M R I 1 . 5 テ ス ラ 未 満	1 225	1.2	1 236 台	144 922 人	118.3 人
	17 3 D 画 像 処 理	568	0.6	...	42 398 人	74.6 人
	18 冠 動 脈 C T ・ 心 臓 M R I (再掲)	85	0.1	...	2 500 人	29.4 人
手術等	01 全 身 麻 酔 (静脈麻酔は除く)	854	0.9	...	7 421 件	8.7 件
	02 内 視 鏡 下 消 化 管 手 術	2 049	2.1	...	17 374 件	8.5 件
	03 悪 性 腫 瘍 手 術	336	0.3	...	1 290 件	3.8 件
	04 肺 (再掲)	1	0.0	...	4 件	4.0 件
	05 胃 (再掲)	31	0.0	...	72 件	2.3 件
	06 肝 臓 (再掲)	8	0.0	...	53 件	6.6 件
	07 大 腸 (再掲)	110	0.1	...	364 件	3.3 件
	08 前 立 腺 (再掲)	21	0.0	...	42 件	2.0 件
	09 乳 房 (再掲)	56	0.1	...	357 件	6.4 件
	10 子 宮 (再掲)	30	0.0	...	91 件	3.0 件
	11 外 来 化 学 療 法	734	0.7	...	11 898 件	16.2 件
	12 人 工 透 析	1 916	2.0	60 781 台	1 661 078 件	867.0 件
	13 分 娩 (正 常 分 娩 を 含 む)	1 327	1.4	...	40 309 件	30.4 件
	14 帝 王 切 開 娩 出 術 (再掲)	1 097	1.1	...	5 464 件	5.0 件
放射線治療	01 放 射 線 治 療 (体 外 照 射)	60	0.1	...	4 826 人	80.4 人
	02 ガ ン マ ナ イ フ ・ サ イ バ ー ナ イ フ (再掲)	16	0.0	24 台	434 人	27.1 人
	03 放 射 線 治 療 (腔 内 ・ 組 織 内 照 射)	5	0.0	...	54 人	10.8 人
歯 科 診 療 所		[68 156] 67 183	100.0
イ ン プ ラ ン ト 手 術		11 311	16.8	...	31 003 件	2.7 件

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

なお、前回調査である平成 20 年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、72 頁の表 4 に掲載している。

2) 設置台数は平成 23 (2011) 年 10 月 1 日現在の数値である。

2) 分娩等の状況

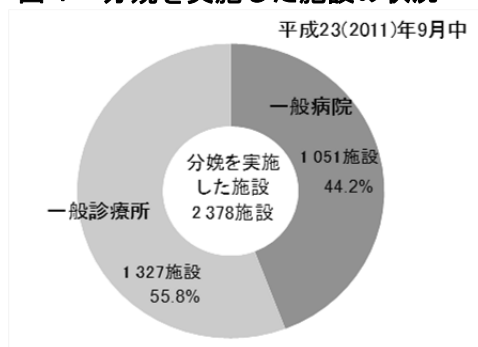
平成23年9月中に「分娩（正常分娩を含む）」を実施した施設の状況をみると、一般病院1,051施設（分娩を実施した施設の44.2%）、一般診療所1,327施設（同55.8%）となっている（図4）。

分娩件数の状況をみると、一般病院は46,386件で、そのうち帝王切開娩出術件数は11,198件（分娩件数の24.1%）、一般診療所は40,309件で、そのうち帝王切開娩出術件数は5,464件（同13.6%）となっている（図5）。

また、分娩を取扱う施設のうち、「院内助産所あり」は一般病院110施設（分娩取扱あり施設の10.2%）、一般診療所50施設（同3.3%）となっている（表18）。

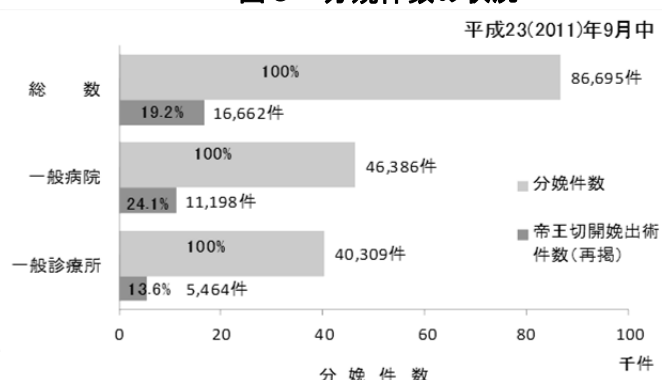
専門外来である「助産師外来」の設置状況をみると、産科または産婦人科を標ぼうしている施設で「助産師外来あり」は一般病院493施設（産科、産婦人科を標ぼうしている施設の36.1%）、一般診療所332施設（同9.2%）となっている（表19）。

図4 分娩を実施した施設の状況



注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。なお、前回調査である平成20年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、73頁の表5に掲載している。

図5 分娩件数の状況



注：1) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。なお、前回調査である平成20年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、73頁の表6に掲載している。
2) 図内の%表示は分娩件数に対する帝王切開娩出術件数の割合である。

表18 分娩の取扱の状況

	総数		分娩取扱あり ²⁾	担当医師数(常勤換算)		担当助産師数(常勤換算)		院内助産所あり
	施設数	人		人	人	施設数		
一般病院	[7,528]	7,410	1,075	5,779.2	16,142.0	110		
一般診療所	[99,547]	98,004	1,501	2,310.1	4,551.4	50		
			構成割合(%)					
一般病院		100.0	14.5	(10.2)		
一般診療所		100.0	1.5	(3.3)		

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。なお、前回調査である平成20年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、73頁の表7に掲載している。
2) 分娩取扱ありとは、9月中の分娩の有無にかかわらず、施設で分娩を取り扱っている場合をいう。
3) ()内は、分娩取扱ありの一般病院及び一般診療所に対する「院内助産所あり」の割合である。

表19 助産師外来の設置の状況

	施設数		構成割合(%)	
	一般病院	一般診療所	一般病院	一般診療所
総数	[7,528]	[99,547]		
助産師外来あり	495	399	6.7	0.4
助産師外来なし	6,915	97,605	93.3	99.6
(再掲) 「産婦人科」または「産科」を標ぼうしている施設				
助産師外来あり	493	332	36.1	9.2
助産師外来なし	874	3,281	63.9	90.8

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

(2) 緩和ケアの状況

緩和ケア（施設基準を満たしていないものを含む。）の状況をみると、一般病院では「緩和ケア病棟あり」の病院は 279 施設（一般病院総数の 3.8%）、「緩和ケアチームあり」の病院は 861 施設（同 11.6%）となっている（表 20）。

表20 緩和ケアの状況

平成23（2011）年10月1日現在

緩和ケア病棟			緩和ケアチーム		
		構成割合 (%)			構成割合 (%)
一般病院	[7 528] 施設数 7 410	100.0	一般病院	[7 528] 施設数 7 410	100.0
緩和ケア病棟あり	279 施設数	3.8	緩和ケアチームあり	861 施設数	11.6
病床数	5 122 床	...	9月中の患者数	23 374 人	...
9月中の取扱患者延数	87 483 人	...	(再掲) 新規依頼患者数	5 191 人	...
緩和ケア病棟なし	7 131 施設数	96.2	緩和ケアチームなし	6 549 施設数	88.4

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成 20 年の宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、74 頁の表 8 に掲載している。

(3) 特殊診療設備の保有状況

一般病院における特殊診療設備の保有状況をみると、「06 外来化学療法室」1,612 施設（一般病院総数の 21.8%）、「01 特定集中治療室(ICU)」822 施設（同 11.1%）となっている。

そのうち、「産婦人科」または「産科」を標ぼうしている一般病院では、「03 母体・胎児集中治療室(MFICU)」96 施設（「産婦人科」または「産科」を標ぼうしている一般病院の 7.0%）、「07 新生児特定集中治療室(NICU)」304 施設（同 22.2%）、「09 新生児治療回復室(GCU)」250 施設（同 18.3%）となっている（表 21）。

表21 一般病院の特殊診療設備の保有状況（複数回答）

平成23（2011）年10月1日現在

	施設数	施設数に 対する割合 %	病床数 床	9月中の取扱 患者延数 人
一 般 病 院	[7 528] 7 410	100.0
01 特定集中治療室 (ICU)	822	11.1	6 530	118 505
02 脳卒中集中治療室 (SCU)	113	1.5	677	14 001
03 母体・胎児集中治療室 (MFICU)	96	1.3	624	13 270
04 無菌治療室（手術室は除く）	460	6.2	3 272	51 726
05 放射線治療病室	82	1.1	186	1 493
06 外来化学療法室	1 612	21.8	11 516	197 815
07 新生児特定集中治療室 (NICU)	308	4.2	2 765	68 061
08 心臓内科系集中治療室 (CCU)	350	4.7	1 772	29 865
09 新生児治療回復室 (GCU)	254	3.4	3 486	63 758
10 小児集中治療室 (PICU)	32	0.4	238	4 194
11 陰 圧 室	480	6.5	4 110	42 060
(再 掲)				
「産婦人科」または「産科」を 標ぼうしている一般病院	1 367	(100.0)
03 母体・胎児集中治療室 (MFICU)	96	(7.0)	624	13 270
07 新生児特定集中治療室 (NICU)	304	(22.2)	2 702	66 230
09 新生児治療回復室 (GCU)	250	(18.3)	3 393	61 452

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成 20 年の宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、74 頁の表 9 に掲載している。
2) ()内は「産婦人科」または「産科」を標ぼうしている一般病院に対する割合 (%) である。

(4) 在宅医療サービスの実施状況

平成23年9月中の在宅医療サービスの実施状況をみると、病院の「医療保険等による在宅サービスを実施している」は5,138施設（病院総数の60.7%）、「介護保険による在宅サービスを実施している」は2,457施設（同29.0%）となっている。一般診療所の「医療保険等による在宅サービスを実施している」は38,414施設（一般診療所総数の39.2%）、「介護保険による在宅医療サービスを実施している」は9,992施設（同10.2%）となっている。また、歯科診療所の「在宅医療サービスを実施している」は13,830施設（歯科診療所総数の20.6%）となっている。

実施1施設当たり実施件数を見ると、病院及び一般診療所では「06 精神科在宅患者訪問看護・指導」、歯科診療所では「05 居宅療養管理指導（歯科衛生士等による）」が最も多くなっている。（表22）

表22 在宅医療サービスの実施状況（複数回答）

平成23(2011)年9月中

	施設数	施設数に対する割合 (%)	実施件数	実施1施設当たり実施件数
病 院	[8 605] 8 460	100.0
医療保険等による在宅サービスを実施している	5 138	60.7
01 往診	1 416	16.7	13 118	9.3
02 在宅患者訪問診療	2 407	28.5	90 487	37.6
03 歯科訪問診療	139	1.6	7 909	56.9
04 救急搬送診療	505	6.0	4 663	9.2
05 在宅患者訪問看護・指導	814	9.6	22 890	28.1
06 精神科在宅患者訪問看護・指導	899	10.6	97 520	108.5
07 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	693	8.2	13 435	19.4
08 訪問看護ステーションへの指示書の交付	2 551	30.2	40 547	15.9
09 在宅看取り	268	3.2	535	2.0
介護保険による在宅サービスを実施している	2 457	29.0
10 居宅療養管理指導（介護予防サービスを含む）	1 066	12.6	33 561	31.5
11 訪問看護（介護予防サービスを含む）	953	11.3	72 684	76.3
12 訪問リハビリテーション（介護予防サービスを含む）	1 444	17.1	154 698	107.1
一 般 診 療 所	[99 547] 98 004	100.0
医療保険等による在宅サービスを実施している	38 414	39.2
01 往診	24 038	24.5	187 288	7.8
02 在宅患者訪問診療	19 950	20.4	733 366	36.8
03 歯科訪問診療	119	0.1	4 799	40.3
04 救急搬送診療	1 538	1.6	3 083	2.0
05 在宅患者訪問看護・指導	3 386	3.5	46 762	13.8
06 精神科在宅患者訪問看護・指導	390	0.4	19 242	49.3
07 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	2 152	2.2	12 463	5.8
08 訪問看護ステーションへの指示書の交付	13 172	13.4	92 025	7.0
09 在宅看取り	3 280	3.3	5 574	1.7
介護保険による在宅サービスを実施している	9 992	10.2
10 居宅療養管理指導（介護予防サービスを含む）	6 971	7.1	218 996	31.4
11 訪問看護（介護予防サービスを含む）	1 722	1.8	32 247	18.7
12 訪問リハビリテーション（介護予防サービスを含む）	1 382	1.4	63 424	45.9
歯 科 診 療 所	[68 156] 67 183	100.0
在宅医療サービスを実施している	13 830	20.6
01 訪問診療（居宅）	9 286	13.8	78 078	8.4
02 訪問診療（施設）	8 677	12.9	227 497	26.2
03 訪問歯科衛生指導	4 312	6.4	206 976	48.0
04 居宅療養管理指導（歯科医師による）	4 017	6.0	92 132	22.9
05 居宅療養管理指導（歯科衛生士等による）	2 788	4.1	139 815	50.1
06 介護予防居宅療養管理指導（歯科医師による）	1 081	1.6	7 741	7.2
07 介護予防居宅療養管理指導（歯科衛生士等による）	846	1.3	7 705	9.1
08 その他の在宅医療サービス	111	0.2	1 028	9.3

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、75頁の表10に掲載している。

(5) 救急医療の状況

病院の「救急医療体制あり」は4,427施設(病院総数の52.3%)、「初期救急医療体制」は811施設(同9.6%)、「入院を要する救急医療体制」は3,377施設(同39.9%)、「救命救急センター」は239施設(同2.8%)、「精神科救急医療体制あり」は965施設(同11.4%)となっている(表23)。

病院の夜間(深夜も含む)救急対応の可否をみると、「ほぼ毎日可能」は「内科の夜間救急対応」2,934施設(病院総数の34.7%)、「外科の夜間救急対応」2,182施設(同25.8%)、「小児科の夜間救急対応」841施設(同9.9%)、「産科の夜間救急対応」829施設(同9.8%)となっている(表24)。

一般診療所の「在宅当番医制あり」は16,214施設(一般診療所総数の16.5%)となっている(表25)。

表23 病院の救急医療体制の状況(複数回答)

平成23(2011)年10月1日現在

	総数	救急医療体制あり				精神科救急医療体制あり
		初期(初期救急医療体制)	二次(入院を要する救急医療体制)	三次(救命救急センター)		
施設数	[8 605] 8 460	4 427	811	3 377	239	965
施設数に対する割合(%)	100.0	52.3	9.6	39.9	2.8	11.4

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、76頁の表11に掲載している。

表24 病院の夜間(深夜も含む)救急対応の可否の状況(複数回答)

平成23(2011)年10月1日現在

	施設数							構成割合(%)					
	総数	ほぼ毎日可能	週3~5日可能	週1~2日可能	ほとんど不可能	不詳	総数	ほぼ毎日可能	週3~5日可能	週1~2日可能	ほとんど不可能	不詳	
内科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	2 934	536	506	2 743	1 741	100.0	34.7	6.3	6.0	32.4	20.6	
小児科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	841	117	332	5 092	2 078	100.0	9.9	1.4	3.9	60.2	24.6	
(再掲) 「小児科」または「小児外科」を標榜している病院	[2 800] 2 753	819	112	310	1 207	305	100.0	29.7	4.1	11.3	43.8	11.1	
外科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	2 182	510	713	3 142	1 913	100.0	25.8	6.0	8.4	37.1	22.6	
脳神経外科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	1 051	108	335	4 882	2 084	100.0	12.4	1.3	4.0	57.7	24.6	
産科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	829	22	33	5 452	2 124	100.0	9.8	0.3	0.4	64.4	25.1	
(再掲) 「産婦人科」または「産科」を標榜している病院	[1 395] 1 367	820	20	33	409	85	100.0	60.0	1.5	2.4	29.9	6.2	
精神科の夜間救急対応	[8 605] 8 460	404	55	289	5 185	2 527	100.0	4.8	0.7	3.4	61.3	29.9	
多発外傷の夜間救急対応	[8 605] 8 460	1 071	196	343	4 719	2 131	100.0	12.7	2.3	4.1	55.8	25.2	

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、76頁の表12に掲載している。

表25 一般診療所の救急医療体制の状況と休日夜間急患センターの状況(複数回答)

平成23(2011)年10月1日現在

	総数	在宅当番医制あり	休日夜間急患センター	精神科救急医療体制あり
施設数	[99 547] 98 004	16 214	437	138
施設数に対する割合(%)	100.0	16.5	0.4	0.1

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、76頁の表13に掲載している。

(6) 院内感染防止対策の状況

病院の院内感染防止対策の「専任担当者がある」は4,447施設（病院総数の52.6%）、専任担当者数は10,451人となっている（表26）。

病床規模別に院内感染防止対策のための施設内回診の頻度をみると、500床未満の全ての病床区分において「月1回程度」が最も多くなっており、500床以上では「週1回以上」が最も多くなっている（図6）。

表26 病院の病床規模別にみた院内感染防止対策の専任担当者の状況

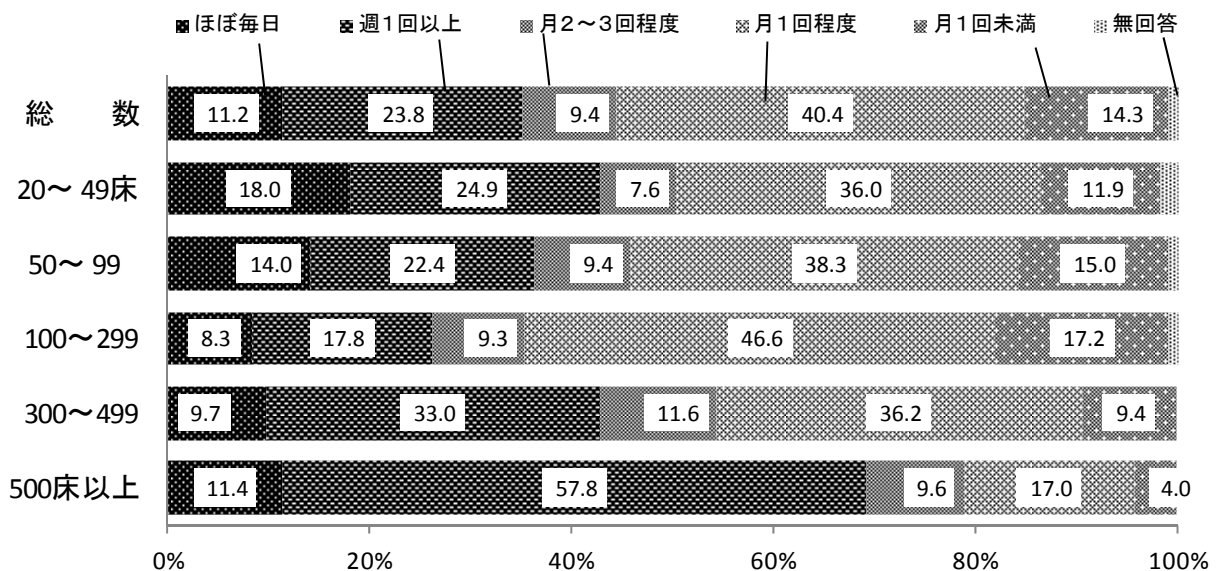
平成23（2011）年10月1日現在

	院内感染防止対策の専任担当者の状況			専任担当者数（人）
	総数	専任担当者がある	専任担当者がいない	
		施 設 数		
総 数	[8 605] 8 460	4 447	4 013	10 451
20～49床	980	427	553	812
50～99	2 160	1 007	1 153	2 352
100～299	3 800	1 904	1 896	4 765
300～499	1 072	727	345	1 620
500床以上	448	382	66	902
		構成割合（%）		
総 数	100.0	52.6	47.4	...
20～49床	100.0	43.6	56.4	...
50～99	100.0	46.6	53.4	...
100～299	100.0	50.1	49.9	...
300～499	100.0	67.8	32.2	...
500床以上	100.0	85.3	14.7	...

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

図6 病院の病床規模別にみた院内感染防止対策のための施設内回診の頻度の状況

平成23(2011)年10月1日現在



注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

なお、前回調査である平成20年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、77頁の表14に掲載している。

(7) 受動喫煙防止対策等の状況

受動喫煙防止対策の状況を見ると、病院では「敷地内を全面禁煙としている」3,457施設（病院総数の40.9%）が最も多くなっており、一般診療所及び歯科診療所では「施設内を全面禁煙としている」が48,976施設（一般診療所総数の50.0%）、36,592施設（歯科診療所総数の54.5%）と、それぞれ最も多くなっている（表27）。

専門外来である「禁煙外来」の設置状況を見ると、病院では2,045施設（病院総数の24.2%）、一般診療所では11,226施設（一般診療所総数の11.5%）となっている（表28）。

表27 受動喫煙防止対策の状況

平成23（2011）年10月1日現在

	施設数			構成割合（%）		
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	[8 605] 8 460	[99 547] 98 004	[68 156] 67 183	100.0	100.0	100.0
敷地内を全面禁煙としている	3 457	25 689	18 572	40.9	26.2	27.6
施設内を全面禁煙としている	2 677	48 976	36 592	31.6	50.0	54.5
喫煙場所を設置し、非喫煙場所に煙が流れ出ないよう措置している	2 001	10 027	5 198	23.7	10.2	7.7
その他の措置を講じている	250	2 386	1 221	3.0	2.4	1.8
何ら措置を講じていない	28	3 666	1 884	0.3	3.7	2.8
不詳	47	7 260	3 716	0.6	7.4	5.5

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、77頁の表15に掲載している。

表28 禁煙外来の設置の状況

平成23（2011）年10月1日現在

	施設数		構成割合（%）	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	[8 605] 8 460	[99 547] 98 004	100.0	100.0
禁煙外来あり	2 045	11 226	24.2	11.5
禁煙外来なし	6 415	86 778	75.8	88.5

注：[]内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
なお、前回調査である平成20年の宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、78頁の表16に掲載している。

(8) 新人看護職員研修の状況

病院における新人看護職員研修の状況を見ると、「新人看護職員がいる」は4,746施設（病院総数の56.1%）で、そのうち「新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を実施している」は3,857施設（新人看護職員がいる病院の81.3%）となっている（表29）。

表29 新人看護職員研修の状況

平成23（2011）年10月1日現在

	総数	新人看護職員がいる	新人看護職員研修の実施状況				不詳	新人看護職員がいない
			新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を実施している	新人看護職員研修ガイドラインに沿わない研修を実施している	新人看護職員研修を実施していない			
施設数	[8 605] 8 460	4 746	3 857	633	204	52	3 714	
施設数に対する割合（%）	100.0	56.1	45.6	7.5	2.4	0.6	43.9	
		(100.0)	(81.3)	(13.3)	(4.3)	(1.1)		

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
2) ()内は新人看護職員がいる病院に対する割合（%）である。

(9) 職員のための院内保育サービスの状況

病院における職員のための院内保育の状況をみると、「院内保育を実施している」は 3,259 施設（病院総数の 38.5%）となっている。そのうち「夜間保育あり」は 1,688 施設（院内保育を実施している病院の 51.8%）、「病児保育あり」は 557 施設（同 17.1%）となっている（表 30）。

院内保育を実施している病院の保育施設の利用者は「自施設の看護師・准看護師」が 3,077 施設（院内保育を実施している病院の 94.4%）と最も多くなっている（表 31）。

表30 職員のための院内保育サービスの状況（複数回答）

平成23（2011）年10月1日現在

	総数	院内保育を 実施 している	院内保育を実施している			
			院内の 施設 を利用	院外の 施設 を利用	夜間保育 あり	病児保育 あり
施設数	[8 605] 8 460	3 259	2 368	907	1 688	557
施設数に対する割合(%)	100.0	38.5 (100.0)	28.0 (72.7)	10.7 (27.8)	20.0 (51.8)	6.6 (17.1)

注：1) []内は全国の数値である。それ以外は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
 なお、前回調査である平成 20 年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、78 頁の表 17 に掲載している。
 2) ()内は院内保育を実施している病院に対する割合(%)である。

表31 院内保育を実施している病院の保育施設の利用者の状況（複数回答）

平成23（2011）年10月1日現在

	保育施設の利用者					
	総数	自施設の 医師・ 歯科医師	自施設の 看護師・ 准看護師	その他の 自施設の 職員	併設施設 の職員	その他
施設数	3 259	1 979	3 077	2 368	1 003	258
施設数に対する割合(%)	100.0	60.7	94.4	72.7	30.8	7.9

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。
 なお、前回調査である平成 20 年の宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値は、78 頁の表 18 に掲載している。